議第1号 「曽木もみじ線」のルート変更について(案) 概要

・資料1および、資料2をご参照願います。

８月５日開催の土岐市地域公共交通活性化協議会におきまして、協議事項２「曽木もみじ線」のルート変更について(案) に関して、委員の方より停留所「ウエルフェア土岐」での発着がなくなることについてのご意見をいただき、事務局で再度ルートを検討しました。

交通事業者、道路管理者、公安委員会など関係機関と調整をしました結果、【資料２】の通り、土岐市駅発、ウエルフェア土岐・駄知支所経由、バーデンパークＳＯＧＩ行のルート案としました。また、運行概要は、【資料１】の通りです。

所要時間は４５分と、昨年度までのルートとほぼ同じとなりましたが、ルート変更により渋滞区間の短縮が期待できるため、到着時間の遅れはある程度緩和できるものと考えております。

昨年度のウエルフェア土岐での乗降者は期間中１０日間合計で３９人と全体利用者数（５４５人）の約７パーセントです。基本的に往復でご利用されると考えると、１日平均約２名の方にご利用いただいているという状況です。

平日と土休日で運行ルートと分けることについても検討しましたが、利用者の混乱を招く恐れもあるため、全日同一ルートとしました。

懸念事項としまして、運行事業者である東濃鉄道(株)の運転手の方の法定拘束時間の問題があります。バスの遅延状況によっては、運転手の方の勤務時間が長引き、規定の時間を超えかねない状況にあります。

今回のルート変更により、昨年度よりはその状況が改善されるものと予想しておりますが、新ルートでの遅延状況、各停留所での利用状況を注視し、その状況によっては再度のルート見直し等の検討も視野に入れる必要があると考えています。